

国際交流研究科 博士前期課程

修了レポート

審査基準（修了レポート1）

- (1) 修了レポート1の課題である、自身の経験の整理、及びその時代・社会の中への位置付けが適切に行われていること。
- (2) 守秘義務・プライバシーなどにつき、十分な配慮がなされていること。
- (3) 論旨が明快かつ矛盾なく展開されていること。
- (4) 文章表現が適切であり、目次・章立て・注記・図表など、レポートとしての体裁が整っていること。
- (5) 上記の基準を満たした上で、それぞれの達成度によって成績評価が行われる。

審査基準（修了レポート2）

- (1) 研究課題が明確かつ適切であること。
- (2) 先行研究への目配り、論証に必要な情報収集が適切に行われていること。
- (3) 研究方法、つまり作品・資史料・データの解釈・分析・立論が適切に、一貫性をもって行われていること。
- (4) 論旨が明快かつ矛盾なく展開され、設定した課題に対する結論が明確に示されていること。
- (5) 文章表現が適切であり、目次・章立て・注記・図表など、レポートとしての体裁が整っていること。
- (6) 上記の基準を満たした上で、それぞれの達成度によって成績評価が行われる。

審査体制

「修了レポート1」及び「修了レポート2」のいずれも、審査は主査1名及び副査1名以上により行われます。主査・副査は、国際交流研究科の研究科委員会において選任します。